

CITATION: Johansen HK, Gotzsche PC. Amphotericin B versus fluconazole for controlling fungal infections in neutropenic cancer patients. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2014, Issue 9. Art. No.: CD000239. DOI: 10.1002/14651858.CD000239.pub2.
CRG名: Cochrane Gynaecological Cancer Group

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 7 JUL 2014
Clib issue No.; N/U: 2014 Issue 9; Update

アブストラクト

背景: 全身性真菌感染症は、特に好中球減少症の癌患者における罹患および死亡の重要な原因である。発熱が持続する患者に対してはしばしば、抗真菌薬が予防的または経験的に投与される。

目的: 好中球減少症を合併した癌患者を対象に、罹患率および死亡率に対する効果をフルコナゾールとアムホテリシンBで比較すること。

検索戦略: 1966年～2014年7月7日のPubMedおよび同定された論文の参考文献一覧を検索した。

選択基準: フルコナゾールをアムホテリシンBと比較したランダム化臨床試験。

データ収集と分析: 2名のレビューアが個別に試験の適格性、バイアスリスク、要約データを評価した。

主な結果: 17試験(患者3,798例、死亡381例)を組み入れた。2件の大規模な3群試験では、アムホテリシンBに関する結果が「ポリエン系薬剤」グループのナイスタチンの結果と統合されていた。ナイスタチンはこのような状況では効果のない薬剤であるため、このアプローチではフルコナゾールに有利なバイアスが生じる。さらに、ほとんどの患者は吸収が不良な経口アムホテリシンB製剤にランダム化され、適切に文書化されていない。「ポリエン系薬剤」試験間には重複が見られたが、これらの問題を明確にするための情報を試験の著者やフルコナゾールの製造者であるファイザー社から得ることはできなかった。フルコナゾールとアムホテリシンB間に効果の有意差は見られなかったが、信頼区間は広がった。試験から脱落する患者はアムホテリシンBの投与を受けた場合に多かったが、盲検化された試験がなかったため、治療の早期中止に関する判断にはバイアスがかかっていた可能性がある。さらに、アムホテリシンBは注入関連毒性を軽減するための前投薬、遅い注入速度、さらには腎毒性予防のための水分、カリウム、マグネシウムの補充を伴う至適な状況下で投与されなかった。主な有害性は、フルコナゾールによる肝障害および胃腸有害作用、アムホテリシンBによる注入関連毒性、腎障害、胃腸有害作用であった。2011年および2014年の更新で、組入れにその後追加された試験は同定されなかった。

レビューアの結論: 一部の試験では、そのデザインまたは分析、あるいはその双方のため、アムホテリシンBが不利となっていた。静脈内投与のアムホテリシンBは、死亡率に対する効果が示された唯一の抗真菌薬で、フルコナゾールよりもかなり安価なため、望ましい薬剤とすべきである。

平易な要約(Plain language summary)

アムホテリシンBまたはフルコナゾールによる癌患者の真菌感染症予防

化学療法による治療または骨髄移植を受けた癌患者では、真菌感染症にかかるリスクが高くなっています。このような感染症は、生命を脅かすことがあります。そのため、このような患者に対して、または発熱している場合にはしばしば、抗真菌薬が予防的に投与されます。本レビューでは、アムホテリシンBとフルコナゾール間に有効性の

差異は見出せませんでした。いくつかの試験では死亡率に対する効果が示されている唯一の抗真菌薬である
Copyright (c) All rights reserved by Minds, Japan Council for Quality Health Care
アムホテリシンBに対して不利な形でデザインまたは分析がなされていました。

(監訳 柴田 実)

翻訳公開日: 2015年9月1日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、2013年6月からコクラン・ライブラリーのNew review, Updated reviewとも日単位で更新されています。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、タイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。